

広報

東峰

TOHO

1

JAN/2010/Vol. 58 E-mail : kikaku@vill.toho.fukuoka.jp URL : <http://www1.vill.toho.fukuoka.jp>

○師走の雪で白い花が満開でした。
(岩屋キャンプ場)





東峰村長 高倉秀信

年頭の

新年明けましておめでとうございます。

平成22年の年頭に当たり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。本年も変わらませずご支援とご指導を賜りますようお願いいたします。

さて、去年は選挙の年で4月19日投開票、東峰村長選挙、8月に衆議院議員選挙が執行されました。東峰村長選挙では2期目に挑戦し、再選の栄に浴することができ感謝をするものです。村民の皆様からいただいた選挙の結果を真摯に受け止め初心に帰り、住民福祉の向上と安心、安全な村づくりに邁進してまいります。

22年の主たる施策につきましては第一次総合計画をもとにマニフェストを実行し、その施策実現にむけ力を傾注してまいります。特に保健福祉施策につきましては高齢化の進展により社会福祉協議会や民生委員、福祉関係者並びに福祉関連施設と綿密な連携による保健福祉の充実を図ってまいります。また子育て支援についても育成支援行動計画に基づき支援をしてまいります。医療施策につきましては村営診療所を地域医療の核として医療体制の充実を図ります。東峰村医療対策検討委員会の答申に沿ってその実現に向け努力をすると共に近隣の医院、医師との連携による医療体制作りや訪問医療相談の充実に努めます。

教育については、「教育の村」東峰として、保・小・中・15年間の保育、教育を通じて将来村を背負って行く児童・生徒を育て世界にも活躍できる人材の基礎を育てる、0歳から15歳までの教育制度をつくり『小さくてもキラリと光る村』を目指してまいります。23年4月小・中一貫教育校開校にむけて、一貫教育校にふさわしい学校環境づくりと校舎整備に取り組んでまいります。

地域情報化の推進ではICTの更なる利活用の推進、ホームページの充実、地デジ対策、地域資源や特産物の情報発信や都市、山村の情報格差を是正するため光ケーブルを導入しCATV事業による新たな行政サービスを目指します。

経済振興につきましては農林業、商工業、窯業、観光産業の振興発展は東峰村の経済に直結するもので経済基盤の強化と地場産業の振興に力を注ぎます。

住民参画の村づくりでは公的諮問機関、私的諮問機関により村の問題・課題を議論していただき今後の村づくりや行政運営に活かしてまいります。男女共同参画社会の実現の条例化が出来ました。多くの皆さんの住民参画をお願いいたします。

今後とも持続可能な村づくり、住民自治の村づくりを自助・公助・共助の協働を推進し住んでよかったと実感できる村づくりを実践してまいりますので村民皆様には今まで以上のご厚情とご指導ご鞭撻、賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとって輝かしい年となりますよう各位のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。



東峰村議会議長 森山元實

あいさつ

新年あけましておめでとうございます。

村民の皆様には、それぞれ夢と期待を抱き新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年国においては、民主党の圧勝による、政権交代が行なわれるという激動の年であったと感じています。

わが国は今、政治、経済、教育などあらゆる分野で混沌とした状況の中、閉塞感や停滞感が続こうとしています。

今、東峰村では、過疎、少子・高齢化が進行し、後継者不足が深刻化する中、最少の費用で最大の効果を上げるべく行政改革推進の更なる実施による経費削減を努め、地域医療体制の充実、国道・県道・村道の道路網の整備、小石原焼ジャパンプランドの確立による窯業振興、観光をはじめとした地域産業の活性化や農林業の振興など様々な事業部門で展開が図られています。

また、小石原川ダム事業が凍結され、将来の地域整備は中断されていますが、一方では平成23年4月開校の小中一貫教育校の開設に向けての協議や事業が進められています。

いつまで続くか分からない地域経済の停滞による景気低迷の中、都市と地方の格差是正や地方の活力へ向けたそれぞれの国の施策に期待を致したいと思えます。

新しい年に期待と希望を持ち、安らぎと心豊かな社会を構築するために、一人ひとりが失われつつある郷土豊かな文化と伝統を活かし、守り伝えて行くことも大切なことだと思っています。

厳しい地方の時代こそ、議会と行政が一丸となり、迅速な判断による行政運営が大切であります。

この村の自立ある基盤づくりは、自助努力も大切ですが、周辺自治体の連携も重要であります。凍結となった小石原川ダムの事業推進につきましては、近隣市町との強力な連携により、国に強く要望して行きたいと思っています。

今年の4月は全村一区10人の議会選挙です。新たな議員構成での活発な議論が展開されることと思えます。

いずれにしても大変な時代になってきました。こんな時こそ村民の皆様の代表であることを強く認識し、村民の皆様方と連携を取りながら付託に応えられる議会づくりを進めて参ります。

どうか、今年も村議会に対しまして、ご指導とご提言をよろしくお願い申し上げますとともに、村民の皆様にとって今年一年が健康で明るい幸せな年でありますよう心からお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶と致します。

おらが村の ニュース&



▲高倉村長による初稼動

マナー向上を願って…

■岩屋湧水自動給水機稼動式典

12月1日（火）より、「岩屋湧水」に自動給水機が設置され完全有料化となり、その式典が行われました。以前より、取水口独占や順番待ちをめぐるトラブルが多かったため「マナー向上」を目的に導入されました。

「安心・安全な水の提供をすることも踏まえて給水機の設置を行いました。この水が多くの方に親しまれ、また愛され、これからも東峰村にお越しいただいて、交流人口が増えることを願っています。」と高倉村長があいさつを述べました。

修験カレーで受験を乗り切れ

■修験カレー贈呈

12月14日（月）、東峰中学校体育館において、(株)宝珠山ふるさと村より受験生に「修験カレー」の贈呈が行われました。「皆さんカレーが好きですか？」との問いかけに、ほとんどの方が好きですとの回答でした。ピリッと辛いこのカレー。夜食にすれば目が覚め勉強がはかどること間違いなしです。



▲受験生代表に手渡されました



▲贈呈された修験カレー

被害撲滅のために

■消費者啓発出前講座開催

12月4日（金）、東峰村老人クラブ連合会研修会において、福岡県消費生活センター相談員の田代倫子先生をお招きし、「高齢者の消費者トラブル」をテーマにご講演をいただきました。近年、悪質商法被害やオレオレ詐欺といった振り込め詐欺事件などの消費者トラブルが、全国各地で発生しています。研修会には約200名の会員の参加があり、詐欺被害の様子を分かりやすく再現したビデオを見たり、だまされやすさ心理チェックなどを行い、被害に合わないためにどうすればよいかを学びました。



▲講師の田代倫子先生

福岡県消費生活センターでは、消費者の皆様からの苦情相談を受け、その解決に向けた助言や情報提供を行っています。不安や疑問を感じたり、万が一被害にあった場合は、一人で考え込まずに、すぐに福岡県消費生活センターに相談するようにしましょう。

○福岡県消費生活センター電話相談

消費生活に関することで、不安や疑問を感じたらすぐにお電話ください。

電話相談：092 - 632 - 0999

・月～金 9:00～16:30 ・日 10:00～16:00

平日のみ、面談による相談も受けています。まずはお電話ください。



▲熱心に耳を傾ける参加者

トピックス

素敵な出会いを求めて

■婚活夕食会報告

12月4日（金）、第1回の婚活夕食会をビネガーレストラン「時季のくら」で開催しました。村内の男性5名と村外の女性5名が参加し、アイスブレイキングでは簡単なゲームで和やかな雰囲気になり、夕食会は参加者全員の顔が見え、会話が弾むワンテーブル方式で行い、その後のペアトークタイムでは1人3分間で参加者全員と2人だけの時間を過ごしました。最後に好印象のお相手の番号を書いたインプレッションカードを主催者に渡しました。

今回の夕食会でのマッチングカップルは1組でした。



幻想的なめがね橋

■めがね橋ライトアップ

12月12日（土）～26日（土）の15日間、恒例となりましたJRめがね橋のライトアップが行われました。

開催期間中は、JR日田彦山線の筑前岩屋駅～大行司駅間に架かる3橋梁（栗木野、宝珠山、第二大行司）がライトアップされ多くの観光客やカメラマンが訪れていました。これらのめがね橋は昭和13年に完成し、同31年に全線開通してから半世紀以上もの間、休むことなく列車を通してきました。これらのコンクリート多連アーチ橋は日本の近代土木遺産にも指定されています。



おいしいお餅を召し上げ

■中学校餅つき大会

12月16日（水）、東峰中学校で餅つきが行われました。当日は保護者や東峰中部営農組合の皆さんと1年生25名が臼と杵を使って、70kgの餅をつきあげました。

初めて餅つきをした子も多く、つき手とこね手のタイミングが合わずに苦戦していましたが、おいしなお餅ができていました。

この活動は東峰中部営農組合と連携して、「田植え、水田管理・観察、稲刈り、脱穀作業」までを自分たちで行いました。できたお餅は、12月17日（木）に生徒たちの手によって村内の70歳以上の世帯に配られました。



◀ タイミングを合わせて勢いよく！



◀ 顔まで粉がついています（笑）

ペレットストーブ燃焼実験実施中!!

【皆さん見学してみてください】

先日、村民の皆さんにお願いしていました「ペレットストーブ導入に関するアンケート」や新エネルギービジョン策定調査委員会で、ペレットストーブがどのようなものか公共施設に導入して見てみたいという意見が多数ありました。そのため村では、「ペレットストーブ」を新たに導入して、燃焼実験を実施します。

「ペレットストーブ」とは、木質ペレットを燃料とするストーブです。近年、地球温暖化対策として化石燃料（石油等）の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制の必要性が唱えられています。その対策の一つとして、間伐材や樹皮が原料の木質ペレットを燃料とする、「ペレットストーブ」が注目を集めています。



▲ペレットストーブ

■ペレットストーブ設置場所：東峰村役場宝珠山庁舎（村長室）、東峰村役場小石原庁舎
いづみ館、喜楽来館、いぶき館

※今後、宝珠山庁舎や宝珠山基幹集落センター、小中一貫教育校、道の駅小石原にも導入予定です。

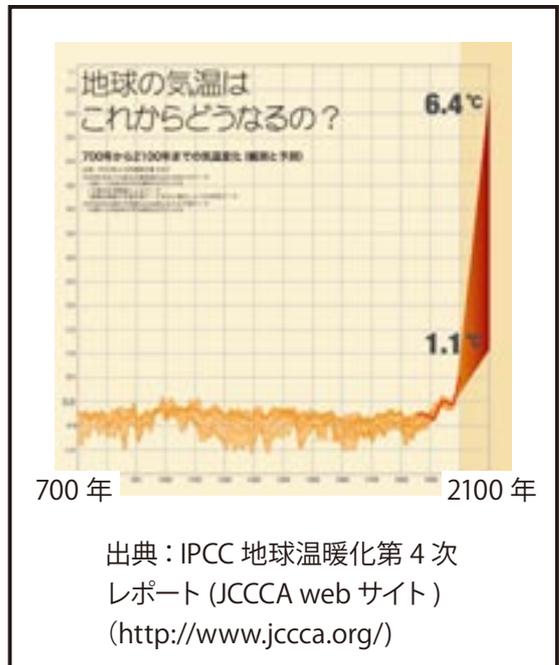
◆世界の環境問題やエネルギー資源の状況

●地球温暖化問題

人間活動の拡大で、二酸化炭素・メタン・亜鉛化窒素などの温室効果ガスの濃度が増加することで、地球の表面温度が上昇することを言います。では、地球表面温度が上昇するとどういったことが起きるのでしょうか？

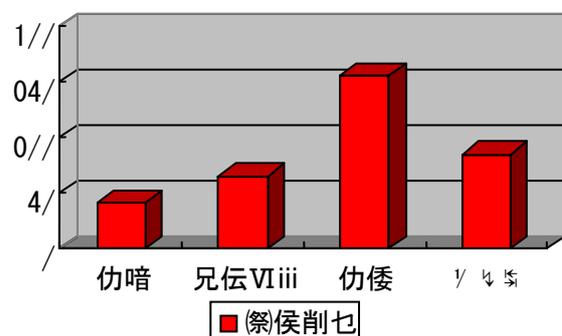
- 1、海面水位が上昇（21世紀末で18～59cmと予測）することで、領土がなくなる。低地水没の危機。
- 2、豪雨・干ばつなどの、異常気象の増加
- 3、生態系への影響・貴重な遺伝子の減少。
- 4、森林伐採や異常気象による砂漠化の進行。
- 5、水資源などへの影響、水不足の発生。
- 6、熱帯性感染症発生の増加（マラリヤ・コレラなど）
- 7、気温上昇（2100年までに1.1℃～6.4℃）による穀物生産の低下。食糧不足問題。
- 8、高温による冷房などの消費エネルギーの増加によるエネルギー不足。

これらのことが起こります。地球の温暖化が進むことは、私たちの生活にも被害が及びます。ただ、地球温暖化は、目に見えないということから、私たち自身が危機的な状況にならないため、理解しにくい現状なのかもしれません。でも、将来的には、もっと深刻な問題になっていることは確かです。他人事ではなく、将来のある子ども達のため、しっかりと理解し、地球温暖化防止対策をしていきましょう。



●エネルギー資源の残存年数

現状のままでは、石油が40年程度、天然ガスが65年程度で枯渇すると指摘されています。



【1】木質ペレットとは？

木質ペレットは、再生可能で地球環境にダメージの少ない木材を原料にした新しい燃料エネルギーです。原料には間伐材や製材端材が使われ、乾燥→破碎→圧縮することで小粒状の固形燃料になります。また、灯油等の液体燃料と違い、漏れたり染みたりする心配がなく、嫌な臭いもありません。CO₂削減に大きな効果が期待できる木質ペレットは、再生可能な地上資源として、地球温暖化問題の解決策としても注目されています。



▲木質ペレット

【2】木質ペレットって何がすごい？

木質ペレット燃料のもとである樹木は成長過程で光合成する時に、CO₂を吸収しています。それを燃やして出るCO₂は、もともと樹木が吸収したCO₂が空気中に戻るだけなのです。きちんと植林すれば、再び光合成をして大気中のCO₂を吸収しながら成長し、また燃料として活用できる資源となります。この循環を「カーボンニュートラル」と呼び、新たなCO₂を生み出すことはありません。石油などの化石燃料を使用しない分だけ、CO₂削減ができるエネルギーなのです。

【3】原材料はあなたの近くの山です。

木質ペレットの主な原料である木材は、森林の手入れのために密集化した立木を間引いた間伐材等です。建築木材としての利用も難しいためお金をかけて燃やすか廃棄するしかありませんでした。ですが、木質ペレットが普及することで資源として利用できるようになります。燃料を海外から輸入するのではなく、日本の森林の手入れをしながら生産することができます。また、村で木質ペレットを生産して村で消費することができれば、無駄な輸送費・CO₂の削減にもなります。

【4】灯油との燃料費比較

※灯油価格…70円/ℓ、木質ペレット 45円/kg で試算した場合。

・灯油1ℓ（70円）と同じ暖かさを得るためには、木質ペレット約2kg（90円）必要。

但し、今後、石油等の枯渇に伴い、灯油の価格は上昇すると予測されているため、その差は小さくなっていきます。

【5】ペレットストーブの特徴

長	①再生可能なエネルギーを利用しており、地球温暖化対策に寄与する。 ②燃焼するときに硫黄などの公害の原因となる有害物質を発生しない。 ③間伐材を利用することにより森林の適正な管理が図られ、森林保全につながる。 ④燃料の地産地消が図られる。
所	⑤暖炉のような暖かみがあり、ヤカンが置けたり、調理機能が付いていたりするものがある。 ⑥焼却灰を肥料等に利用できる。
短	①現状では一般的な暖房器具よりも、本体が高額である。（約25万円～） ②煙突などの排気管の設置工事が必要である。 ③細かな温度設定などできないものがあり、石油ヒーターと比べるとやや利便性に劣る。
所	④ペレットを貯蔵する場所が必要（石油等の約3倍の容積が必要） ⑤設置後の移動や収納することが難しい。 ⑥焼却灰の処理が必要（およそ週一回程度）

お問い合わせは

東峰村役場小石原庁舎 企画振興課企画調整係（電話：74-2311）まで